2007 年 11 月 15 日

各 位

会 社 名 小 野 薬 品 工 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 是金 俊治
（コード番号 4528 東証･大証第一部）
問合せ先 取締役広報室長 森本 公也
（TEL：06-6263-5670）
会 社 名 日 清 食 品 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 安藤 宏基
（コード番号 2897 東証･大証第一部）
問合せ先 執行役員広報部長 服部 秀樹
（TEL：03-3205-5252）

小野薬品、日清食品が新たに開発した「化合物の発がん性評価システム」について利用契約を締結

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市、社長：是金 俊治）と日清食品株式会社（本社：大阪市、社長：安藤 宏基）は、日清食品が新たに開発した「化合物の発がん性評価システム」について利用契約を締結しましたのでお知らせいたします。

医薬品の研究開発においては、有効性のみならず安全性に優れた化合物を創製することが大切です。特に、医薬品の創製過程における早期の発がん性評価は、安全性を担保する上で最も重要な試験の一つです。

日清食品が新たに開発した発がん性を評価する NESMAGET 法（Nissin's Evaluation Systems for Mammalian GenoToxicity）は、従来法とは異なり、多くの検体をごく微量で短期間に評価できる画期的な技術であり、この方法を用いることで、より早期の研究段階で医薬品候補化合物の発がん性リスクの予測が可能となるなど、発がん性評価試験の精度向上が期待されます。

小野薬品は、今後、NESMAGET 法を積極的に活用することにより、これまで以上に安全性を考慮した化合物の創製が可能になるものと考えております。

以 上

（ご参考）

＊NESMAGET 法（ヒト細胞変異原性試験法）

発がん性物質の多くは遺伝子（DNA）に変異を起こす変異原性物質であることが知られています。変異原性物質を検出する既存の試験法として、細菌を用いた試験法や哺乳類細胞を使用した試験法などがありますが、これらの検査法には種差、操作法の煩雑さ、試験期間の長さ（数日から数週）など、さまざまな問題点があります。
そこで日清食品では、このような問題点を解決する代替方法として、ヒト細胞を用いることを大きな特徴とする「DNA 修復遺伝子 p53R2 の発現を指標とした簡便でかつ微量で分析可能な変異原性試験法（NESMAGET）」を独自に開発しました。